

## SELECTION & SPECIFICATION DATA

<b>一般名</b>	厚膜形エポキシ樹脂塗料
<b>塗料のタイプ</b>	エポキシ/ 脂肪族ポリアミン
<b>一般特性</b>	優れた耐屈曲性を有するエポキシ樹脂塗料。硬化塗膜はコンクリートのひび割れに追従できる。コンクリート面への使用が推奨される。
<b>特長</b>	低VOC 塗料 (重量固形分70% 以上)
<b>色相</b>	淡彩
<b>仕上げ</b>	セミグロス
<b>下塗り</b>	カーボガード195 サーフェーサー など
<b>固形分</b>	容量 66% +/- 2%
<b>固形分</b>	重量 79% +/- 2%
<b>混合物密度</b>	1.40 +/- 0.05 g/ cm <sup>3</sup>
<b>VOC</b>	供給状態で : 294 g/ L

塗装方法	乾燥膜厚 (ミクロン/ 回)	理論塗付量 (g/m <sup>2</sup> )	標準使用量 (g/m <sup>2</sup> )*
スプレー	125	265	480
ハケ・ローラー	100	212	320

\*: 標準使用量は、被塗物の形状や塗装する部位、被塗面の表面状態、風速・気温等の環境条件、塗装作業者の技量等、種々の条件によって変化する場合がある。詳細はジャパンカーボライン社まで問い合わせること。

<b>ウェット/ ドライ比</b>	1.50 (無希釈)
<b>タレ限界膜厚</b>	200 ミクロン (ドライ)
<b>耐熱性</b>	連続: 93°C (199°F) 断続: 121°C (250°F)  150°C で変色および光沢の低下が起こるが、その他の塗膜特性には影響しない。
<b>耐屈曲性</b>	Excellent
<b>注意点</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 強酸、強アルカリおよび溶剤に曝露あるいは浸漬される箇所には推奨されない。</li> <li>• エポキシ塗料は、日光に曝露されると光沢を失い、変退色が起こり、最終的に白亜化 (チョーキング) する。</li> </ul>

## 下地処理

<b>一般</b>	被塗面に付着している油、グリース、汚れ等を溶剤を用いて拭き取る。
<b>鋼材</b>	通常は無機ジンクプライマーやエポキシプライマーの上に塗装する。
<b>コンクリート</b>	20°C、相対湿度50% またはそれに等しい環境において28 日間以上硬化させる。サンドペーパーによる目粗しののち、レイタンス層は完全に除去する。

# カーボガード890 SB

製品データシート



## 混合および希釈

<b>混合</b>	基剤、硬化時をそれぞれ動力攪拌し、混合後も動力攪拌する。 基剤、硬化剤は全量を混合することを原則とするが、やむを得ず小分けして使用する場合には、基剤と硬化剤をそれぞれ均一になるように攪拌し、その後正確に秤量し使用する。
<b>希釈</b>	カーボラインシンナー15の使用が推奨される。冬期には、カーボラインシンナー2を使用する場合もある。 ジャパンカーボライン社が推奨、供給する以外のシンナーを用いた場合は、塗料の性能に悪影響を与える恐れがある。
<b>混合比</b>	基剤：硬化剤 = 85：15 (重量比)
<b>可使時間</b>	5°C: 16 時間 10°C: 12 時間 20°C: 6 時間 30°C: 3 時間

## 塗装機器に関する指針

以下は、本製品を塗装する場合の塗装機器に関する一般的な指針である。塗装現場の状況によっては、望ましい結果を得るためにはこれらの指針の変更が必要な場合もある。

<b>塗装機器</b>	エアレススプレー、ハケ、ローラー
<b>エアレススプレー</b>	<ul style="list-style-type: none"><li>• 圧縮比: 30 : 1</li><li>• 塗料圧: 10-15 MPa</li><li>• オリフィスサイズ: 0.013-0.017"</li><li>• チップフィルター: 50 Mesh (必要あれば)</li><li>• 希釈率: 10% 以下 (重量比)</li><li>• 適正粘度: 1.0-2.0 Pa·s (10-20 Poise)</li></ul>

## 塗装条件

条件	被塗面温度	気温	湿度
最低	5°C (41°F)	5°C (41°F)	0%
最高	50°C (122°F)	43°C (109°F)	85%

## 硬化条件

被塗面温度	硬化	最大塗り重ね可能時間	最小塗り重ね可能時間
5°C (41°F)	35 時間	30 日	36 時間
10°C (50°F)	20 時間	21 日	24 時間
20°C (68°F)	12 時間	14 日	12 時間
30°C (86°F)	8 時間	7 日	6 時間

浸漬用途に使用する場合、良好な換気のもとで、20°C で7 日間以上硬化させる。

上表は、乾燥膜厚125 ミクロンの場合である。厚膜・換気不足・低温等の条件では乾燥時間が長くなり、溶剤の閉じ込めや早期の不具合が発生する可能性がある。

## 荷姿、取扱および保管

**保存可能期間** | 製造後12 ヶ月 (未開封の場合)

## 荷姿、取扱および保管

保管条件 | 屋内に保管すること。

正味重量	16 kg セット
基剤	13.6 kg
硬化剤	2.4 kg

	引火点 (°C)	有機則区分	危険物分類
基剤	27	2 種	4 類2 石 非水溶性液体
硬化剤	24.5	2 種	4 類2 石 非水溶性液体
カーボラインシンナー2	-9	2 種	4 類1 石 非水溶性液体
カーボラインシンナー15	27	2 種	4 類2 石 非水溶性液体

\* 安全情報に関する詳細は、安全データシート (SDS) をご参照ください。

## 更新情報

最終更新 | 2022 年6 月

管理番号 | PDS007-012

## 付記事項

当社が知る限り、本資料に含まれる技術データは正確ですが、予告なく変更される場合があります。特に記載がない限り、本資料に含まれる製品名・社名はカーボライン社の登録商標です。安全に関する情報の詳細については、SDSをご参照ください。